

香りのうつわ



香りの文化は、紀元前から5000年以上もの長い歴史を持つとされます。宗教儀式における神仏への供香、王侯貴族の間で楽しまれた薫香や香水など、各地域で様々な文化が育まれ、東西の交流を通じて花開きました。

日本では飛鳥時代に仏教の伝来と共に大陸から伝わってきた香りの文化から、鎌倉時代になると香りの中に美を求める香道へと発展、「香りを聞く」という日本独自の香りの楽しみ方が生まれました。

本展では、香炉や香合、丁子風炉、香水瓶といった、香りを楽しむための器に注目します。繊細な透かし彫りや華やかな絵付けなど超絶技巧が極められた伝統工芸の薩摩焼を中心に、陶芸の宮之原謙、彫金の帖佐美行、薩摩切子の復刻に取り組んだ由水常雄ら、鹿児島ゆかりの近現代作家による作品も紹介します。それぞれに趣向が凝らされた多彩な表現と技法の妙をご覧ください。

また、工芸とあわせて、芳香をもつ花木や果物を描いた作品から、香水瓶がモチーフとして登場する作品まで、香りにちなむ絵画も展示します。

香りは、「目に見えない芸術」ともいわれます。香りにまつわる作品から、古来暮らしを彩ってきた豊かな文化の一端をお楽しみいただけますと幸いです。

香炉、香合、香水瓶…

〔陶 芸〕 薩摩焼 東郷寿勝 有山雅夫（二代長太郎） 宮之原謙 坂下光石
〔金 工〕 帖佐美行 〔ガラス〕 由水常雄 ほか
〔絵 画〕 和田英作 橋口五葉 安達真太郎 篠原愛 ほか

◆ 関連イベント ◆

ギャラリートーク

（担当学芸員による作品解説）

2月1日（土）、15日（土）

3月1日（土）、16日（日）

各日 14:00～14:30

会場：2階・企画展示室

※申込不要（先着10名）

展覧会観覧券が必要です。

◆ 展覧会案内 ◆

季節の所蔵品展

冬の所蔵品展

ミニ特集：画家と似顔絵

12月3日（火）～2月16日（日）

春の所蔵品展

2月18日（火）～5月18日（日）予定

会場：2階・常設展示室

※小企画展と観覧料共通

春の特別企画展

絹谷幸二 親子三人展

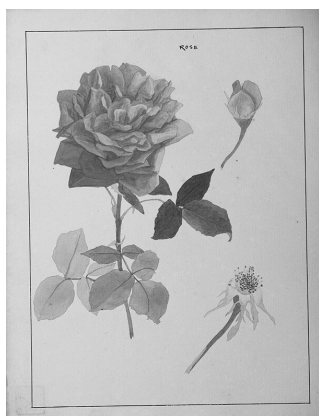
絹谷幸太 / 絹谷香菜子

Koji Kinutani & his children Kota/Kanako

3月22日（土）～5月6日（火・振）

会場：1階・一般展示室

※観覧料は別途



橋口五葉《薔薇》「百花譜」より 制作年不詳



和田英作《花》1939年



東郷寿勝《錦手蝶透蓋草花文三足香炉》20世紀前期



薩摩焼（堅野）《秋草文丁子風炉》19世紀後期

鹿児島市立美術館

〒892-0853 鹿児島市城山町4-36 Tel.099-224-3400

<https://www.city.kagoshima.lg.jp/artmuseum/>

アクセス案内

〔公共交通機関ご利用の場合〕

・カゴシマシティビューバス「西郷銅像前」下車、徒歩1分

・市電「朝日通」、バス「金生町」下車、徒歩5分

〔自家用車・タクシーご利用の場合〕

・鹿児島北インターより、車で20分

・JR鹿児島中央駅より、車で10分



駐車場案内 ＊駐車可能台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

〔美術館駐車場〕 6台（美術館正面向かって右側の道路沿い）

〔共用駐車場〕 31台（メルヘン館隣）

大型バス3台（マイクロバス7台）（9:30～18:00、バスは要予約）

〔周辺駐車場〕

・市役所みなと大通り別館駐車場

（無料、平日8:30～19:00、土日祝9:00～19:00）

・美術館周辺コインパーキング（60分100円～）

・セラ602（30分150円）

〔近隣施設駐車場〕 ＊専用・共用駐車場が満車の場合に限りです。

施設の都合によりご利用いただけない場合があります。

・かごしま近代文学館・メルヘン館（無料、火曜休館）

・鹿児島県歴史・美術センター黎明館（無料、月曜・毎月25日休館）